

Calefax

カレファックス・リード・クインテット・アムステルダム

3.21 2019
(木・祝)京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ
14:00 開演 (13:30 開場)京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL全席指定 一般 ¥4,000 / 学生 ¥2,000 / 会員 * ¥3,600
会員先行: 10/7(日) 10:00~ 一般発売: 10/14(日) 10:00~
* 京都コンサートホール・ロームシアター京都 Club (会費 1,000 円) と京響友の会の会員が対象。

Reed Quintet

ドビュッシー：子供の領分

Debussy : Children's Corner

夏田昌和：宙吊りの歌

Natsuda : Chanson suspendu

ガーシュイン：パリのアメリカ人

Gershwin : An American in Paris

フランク：前奏曲、フーガと変奏曲

Franck : Prelude, fugue et variation

ライヒ：ニューヨーク・カウンターポイント

Reich : New York Counterpoint

J.S.バッハ/ブゾーニ：シャコンヌ

J.S.Bach / Busoni : Chaconne

Oliver Boekhoorn, oboe オリヴァー・ブックホルン (オーボエ)

Ivar Berix, clarinet イーヴァル・ベリックス (クラリネット)

Raaf Hekkema, saxophone ラーフ・ヘッケマ (サクソフォン)

Jelte Althuis, bass clarinet イェルテ・アルタウス (バス・クラリネット)

Alban Wesly, fagotto アルバン・ウェスリー (ファゴット)

●チケットのご予約・お問い合わせ

京都コンサートホール 075-711-3231

※10:00~17:00 / 第1・3月曜休館 (休日の場合は翌平日)

●24 時間いつでも!

オンラインチケット購入

●プレイガイド

e+ (イープラス) eplus.jp

ロームシアター京都 075-746-3201 (10:00 ~ 19:00 / 年中無休 *臨時休館日を除く)

主催：ヒラサ・オフィス

共催：京都コンサートホール (公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)・京都市

後援：村田機械株式会社

*未就学児の入場はご遠慮ください。

*都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

*学生券で入場される際は、証明証のご提示をお願いする場合がございます。

リード楽器を愛する全ての人へ
世界でも類を見ないスーパー・アンサンブル!

Amsterdam

カレファックスは共通の情熱のもとに強い絆で結ばれた5名のリード楽器奏者によるオランダのアンサンブルである。その卓越した演奏、見事な編曲、革新的な演出は、30年以上にわたって、国内外で高く評価されている。彼らはリード・クインテットという、まったく新しいジャンルを生み出した。そして、彼らの後に続く世界中の若い管楽器奏者に刺激を与えている。カレファックスは、ポップなメンタリティーをもったクラシック・アンサンブルと定義することができるだろう。

プログラム作りには冒険的なアプローチを用いており、その驚異的なまでに多彩なレパートリーは、1100年代に作曲されたものから現代の作品にまで及ぶ。オーボエ、クラリネット、サクソフォン、バス・クラリネット、ファゴットというユニークな編成のために、独自の編曲によって作品を演奏するほか、新たな作品を委嘱して演奏している。数多の国外ツアーや、ピアニストのジャン＝イヴ・ティボーデ、歌手のノラ・フィッシャーやコーラ・ブルグラフ、トランペット奏者のエリック・ヴロイマンス、ヴァイオリニストのリザ・フェルシュトマン、クラリネット奏者のキナン・アズメ、オランダ室内合唱団をはじめとする様々なジ



オリヴァー・ブックホルン (オーボエ)

Oliver Boekhoorn, oboe

1970年生まれ。メンバーの中でもっとも若いオーボエ奏者である。音楽教育をハーグとアムステルダムの音楽院で受ける。また、デンマークのグループ“マッド・カウ・シングズ”と“コブラ・ラ・プリンスバール・ダムステルダム”のメンバーでもあり、北欧における主要なアンサンブルやオーケストラで定期的に演奏している。

イーヴァル・ベリックス (クラリネット)

Ivar Berix, clarinet

1967年生まれ。バス・デ・ヨングやジョージ・ピーターソンに師事し、優秀な成績でパフォーミング・アーティストとして卒業。1987年にカレファックスのメンバーとなる。カレファックスの他にも、さまざまな形の室内楽に参加するほか、後進の指導にも力を入れている。また、北欧の主要オーケストラでもフリーランス奏者として参加。



『カレファックス—— この5人の極めて才能豊かなオランダ人男性の演奏を聴くと、リード・クインテットが地球上最高の音楽の形式であるように思えてくる』 ザ・タイムズ紙

Calefax Reed Quintet Amsterdam

カレファックス・リード・クインテット・アムステルダム

ジャンルの音楽家との共演を通じ、世界各地の音楽やジャズ、即興演奏などの影響を積極的に受け入れている。また、舞台作家のバウキエ・シュヴァイグマンやビデオ・アーティストのヤープ・ドゥルプスティーンなど、音楽以外の分野のアーティストたちとも定期的にコラボレーションしている。

今日、カレファックスに倣って、世界各地でリード・クインテットが結成されている。カレファックスはそのパイオニアたる役割として、自らの編曲による楽譜をカレファックス・エディション名義で出版している。カレファックスはさらにその活動の枠を広げ、多彩な音楽体験を集めた音楽祭であるPANフェスティバルを毎年開催し、音楽以外の芸術活動との思いがけない出逢いや作曲コンクールも展開するなど、インスピレーションに溢れる探究の場を創出している。

CDはドイツMDGと彼ら自身のレーベルであるRIOJAレコードから19枚リリースしており、いずれも世界中のメディアから高く評価されている。

2015年10月には、ラジオ・プロデューサーのレックス・ボルマイヤーが執筆したカレファックスの30年の歴史を綴る記念書籍『Calefax en de Caleidoscoop (カレファックスと万華鏡)』が出版された。

受賞歴も数多く、オランダの主要音楽賞の多くを受賞している。2012年にはファミリー向け音楽ショー『De Muziekfabriek (音楽ファクトリー)』でドイツのJunge Ohren Preis賞に輝いた。

日本では、2008年の東京でのみの1公演で絶賛され、その後2009年に7公演、2011年に6公演、2015年5公演のツアーを行い、好評を博した。



ラーフ・ヘッケマ (サクソフォン)

Raaf Hekkema, saxophone

1968年生まれ。カレファックスのレパートリーのほぼ半分を編曲している。クラシックや現代のサクソフォン曲のソリストとして活躍する傍ら、ソロ活動として、北オランダフィル、オーケストラ・ド・シャンブル・ド・ラ・ジロンド(フランス)などとの共演もある。また、パガニーニのヴァイオリンのための24のカプリースを編曲、録音したことにより、2007年エコー賞クラシック部門において‘Instrumentalist of the year’を受賞。彼の編曲、作曲した作品はショット・ミュージックから出版されている。

イェルテ・アルタウス (バス・クラリネット)

Jelte Althuis, bass clarinet

1967年生まれ。アムステルダムのスウィーリング音楽院において、クラリネットをヘルマン・ブローネとジョージ・ピーターソンに、バス・クラリネットをハリー・スバルネイに師事し、優秀な成績でパフォーミング・アーティストとして卒業。1994年にカレファックスのメンバーになり、アレンジャーとしても活躍している。ロイヤル・コンセルトヘボウやネザーランド放送室内オーケストラで、フリーランス奏者として参加。



アルバン・ウェスリー (ファゴット)

Alban Wesly, fagotto

1967年生まれ。カレファックスの共同創立者の一人でもあり、アレンジャーでもある。また、ドイツの室内楽団ムジークファブリックのメンバーとしても活躍している。音楽教育をアムステルダムとハーグの音楽院で受け、最終試験では1996年にコルフショーテン賞を受賞している。最近では、ジズス・レヒト・ロイエ、カール・ハイッツ・ストックハウゼン、マウリコ・カーゲル、ハインツ・ホリガー、メイケ・ナス、ペーター・エオティヴィオスらの作曲家と活動している。